

楽しく学び つながり 活かす 生涯学習



はむらの 教育



富士見小学校創立 50 周年記念運動会の様子です。
空高く上がった色とりどりのバルーンには、子どもたちの想いが
それぞれ込められており、夢を運んで広がっていくよう、
希望に満ちた光景でした。

ゆとろぎが 開館 15 周年 を迎えます！

生涯学習センターゆとろぎは、平成18年4月に市の生涯学習活動の拠点施設として開館しました。以来、多くの市民の皆さんにさまざまな活動の場として利用していただき、間もなく開館15周年を迎えます。



ゆとろぎの施設

ゆとろぎにはホールから学習室までいろいろな施設がありますので利用してください。

	施設名	主な使い方
3階	創作室 1・2	工作、絵画、各種創作活動 など
	創作室 3	陶芸制作 など（室内に電動ろくろ、焼成窯等有）
	和室 1・2	茶華道 など（室内に茶道具有）
	保育室	幼児の保育 など
2階	講座室 1A・1B、2	打合せ、勉強会、各種サークル活動 など ※ A・Bに分かれている施設はそれぞれつなげて使用できます。
	会議室	
	学習室 1A・1B、2A・2B、3	
1階	大ホール	演奏会、発表会、講演会、総会 など（スタインウェイピアノ有）
	展示室	美術作品の展示 など
地下	小ホール	劇場形式：演奏会、発表会、講演会、総会 など（グランドピアノ有） 平土間形式：社交ダンス など ※可動客席のため、劇場形式と平土間形式の使い分けが可能です。
	レセプションホール A・B	会議、講習会、懇親会 など（室内に電子ピアノ有） ※ AとBをつなげて使用できます。
	音楽練習室 1	楽器練習、バンド練習 など（室内に電子オルガン、ギターアンプ、ドラムセット等有）
	音楽練習室 2	楽器練習、合唱練習 など（室内にグランドピアノ有）
	リハーサル室	公演のリハーサル、ダンス練習 など（室内にアップライトピアノ有）
屋外	屋上ひろば（4階）	市内を一望することができます。
	いこいの場（3階）	ベンチがあり、休憩ができます。
	交流の橋（3階）	ゆとろぎと図書館をつなぐ橋です。
	交流ひろば（地下）	休憩や、活動の発表などに使用できます。

※各施設は右記区分ごとに貸出しています。【午前】9:00～12:00【午後】13:00～17:00【夜間】18:00～22:00

※各施設の定員などの詳細や使用の申し込み方法などについては、問い合わせてください。

※ゆとろぎをご利用の際は、新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします。

※新型コロナウイルス感染症対策として一部利用を制限している場合があります。

ゆとろぎの催しもの

ゆとろぎでは、クラシックコンサートや学習講座、美術作品の展示などの催しを、年間を通じて開催しています。

催しもの情報は、広報はむら、ゆとろぎイベントガイド、市公式サイト、羽村駅・小作駅の掲示板、市内各所の教育委員会掲示板、メール配信サービスなどで発信しています。

ご確認いただき、是非、ご参加ください。皆さまのご来場をお待ちしています。

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ ☎570-0707



郷土博物館を利用してください！

新型コロナウイルス感染症は未だ猛威を振るっています。当館もその大きな影響を受け、令和2年3月7日(土)～6月1日(月)まで臨時休館をしておりました。開館後も、市内を歩いて回る歴史さんぽや、自然観察会、体験学習会などの事業を中止せざるを得ませんでした。例年市内をはじめ、都内の多くの小学校に社会科見学に来ていただいています。児童の皆さんに対する展示説明は、残念ながらまだ実施できていません。

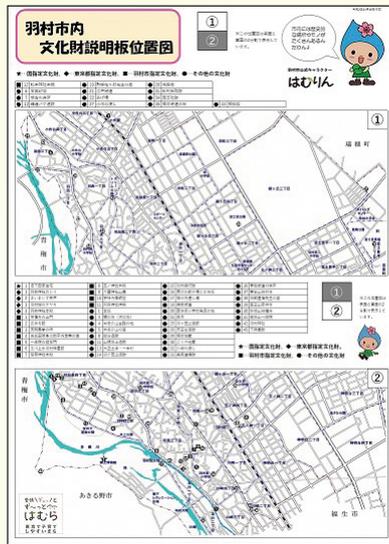
せっかく学習に来ていただいた方に展示説明ができず、事業も実施できないのでは、博物館の機能はほとんどなくなってしまうのではないかと思われるかもしれません。ですが、まだまだ博物館ができることはあります。ここではその取り組みをご紹介します。

まず1点目は、ご依頼に応じて学芸員が出張して授業を行う、外部依頼講座があります。コロナ禍以前市外の事例になりますが、小学校にお邪魔し、繭から糸をひく体験を実施しました。その際、絹製品やさまざまな繭のサンプルを持っていき、糸をとる体験だけでなく、その前の繭の状態や絹糸の利用について説明をしました。

このほか玉川上水や羽村の歴史などについても説明可能です。もちろん中学生や一般の方もご利用いただけます(要相談)。



2点目は、「はむら文化財みて歩き」の活用です。郷土博物館と市役所一階の案内にて1000円で販売されているマップに、市内の史跡や天然記念物など文化財の所在地と、その概要が記されています。羽村の歴史や文化を実際に見て、学んでいただく際の強力な味方になってくれます。この地図に市内に設置してある文化財説明板の位置図も加わり、説明板には文化財の他、坂やその土地の解説をしているものもあります。これがあれば、某人気司会者のまち歩き番組のように、羽村をブラブラして新たな発見があるかもしれません。どの辺りがおもしろいか、といったことは、博物館へご連絡いただければアドバイスさせていただきます。



3点目は、昨年7月より始めた郷土博物館の公式Twitterです。郷土博物館の周りは自然がいっぱいなので、タヌキや、ヒバリ、シロマガラなどのヘビや、カワラノギクといった普段の生活ではなかなかお目にかかれない動植物の写真などを随時アップしています。また現在実施中の展示情報や、今までご紹介できなかった収蔵資料の紹介なども今後行う予定です。

4点目は、出張展示です。郷土博物館以外の市の公共施設で展示を行うことがあります。実施の際には広報はむらなどでお知らせしますが、例えば平和啓発に関するものや、オリンピック・パラリンピックに関する展示を図書館や市役所で行ってきました。各展示では、関連書籍や、羽村がホストタウンになっているキルギス共和国に関するパネルなども一緒に展示しますので、より幅広い情報が得られるようになっていきます。ぜひ見てください。

現在、郷土博物館は企画展示などを実施していますが、再度休館という事態になった場合は、このような機能を活用して博物館の持つ情報を楽しんでいただけます。

ぜひ実物の資料を見に郷土資料館へお越しください。



【問合せ】 郷土博物館 ☎0558-25601

図書館からのお知らせ

読書のモチベーションを高めよう！

皆さんは一年間にどれくらい本を読んだか数えたことがあるでしょうか。読んだ冊数を記録しておく、「今年は昨年よりもっと多く本を読もう」と、読書に対するモチベーションが高まるのでおすすめです。

図書館には、皆さんの読書記録を残すための便利なツールがあります。

●読書手帳

借りた本を記録できる手帳です。図書館窓口にて無料で配布しています。

※図書館で借りた本は、タイトルシールを印刷して貼りつけるだけなので、とても簡単です。自分で記入することもできます。いつその本を読んだかが分かるので、後から振り返ることができます。

また、図書館では毎年4月と11月に一定の冊数を読んだ方を表彰する、読書手帳表彰を行っています。読書手帳またはよむちよを使って記録がたまる表彰に応募できますので、日ごろから読んだ本を記録する習慣をつけてみませんか。
(写真左：大人用、右：真ん中：子ども用)



●MY本棚

今まで読んだ本やこれから読む本、図書館で借りた本を記録できる機能です。MY本棚は図書館ウェブサイトの利用者メニューから見ることが出来ます。読んだ本をいつでもどこでも確認することが出来る便利な機能です。

●読書マラソン

読書マラソンは利用者メニューの読書マラソンのページであらかじめ期間と目標冊数を設定して、その期間内の目標冊数の達成状況が分かる機能です。

冊数にカウントされるのは図書館で貸出した本のみになります。

※図書館ウェブサイトURL → <https://www.namura-library.tokyo.jp/>



▲読書マラソンのページ

スポーツセンターからのお知らせ

一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽ

平成20年に設立された、はむら総合型スポーツクラブはむすぽは、地域住民が主体となって運営されているスポーツクラブです。平成29年に法人化され、一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽとなりました。スポーツ・レクリエーション活動を通して、誰もが「いつでも」「どこでも」「いつまでも」「楽しく体を動かし、健康で豊かな「人づくり」「仲間づくり」「まちづくり」を目指しています。

令和3年度の主なプログラムを紹介ししますので、ぜひご参加ください。

【主なプログラム】

- 1 ポケモン体操クラブ
- 2 ジュニアアダンス
- 3 西多摩ジュニア体操クラブ
- 4 できるスポーツできますぽ！
- 5 テニス(小学生～シニア)
- 6 はむすぽハイアンフラ
- 7 はむすぽヨガ
- 8 スポーツウエルネス吹矢
- 9 オンラインレッスン

※詳しくは一般社団法人はむら総合型スポーツクラブはむすぽの公式ホームページをご覧ください。

【記事についての問合せ】

スポーツセンター
555-0033
プログラム内容についての問合せ

一般社団法人はむら
総合型スポーツクラブはむすぽ
519-5712

(受付時間平日(月曜日を除く)午後3時～5時)



▲オンラインレッスンの様子



▲ジュニアアダンス発表会



【問合せ】図書館 ☎554-2280

生涯学習センターゆとろぎからのお知らせ

国際理解講座 アフリカ現代美術から迫る

アフリカの社会と文化

世界の国の文化や歴史、人々の暮らし・生活などを学ぶ講座として開催している国際理解講座の今回は、アフリカに焦点を当て、在南アフリカ日本大使館専門調査員の経験を持つ講師より、アフリカ現代美術の紹介と、表現文化の中に抽象化されたアフリカ人の日々の暮らしや文化を紹介していただきます。



日時：3月13日(土)午後1時30分～午後3時30分

会場：ゆとろぎ講座室1

講師：吉田栄一さん(横浜市立大学国際教養学部教授、元在南アフリカ日本大使館専門調査員、元アジア経済研究所アフリカ研究グループ研究員)

参加費：無料

定員：30名

申込：電話、電子申請

子申請サービス、または直接ゆとろぎへ。

※申し込み状況はゆとろぎへお問い合わせください。



▲電子申請QRコード

【問合せ】生涯学習センターゆとろぎ 0570-00707

開催中

第39期ゆとろぎ美術館

美術館のない羽村市において、市民の皆さんに美術を身近に感じていただけるよう、ゆとろぎでは館内を美術館に見立てて、平面作品や立体作品などさまざまな美術作品を展示しています。今回は、ゆとろぎ所蔵の美術品を展示しているほか、2月にゆとろぎで展示を行った、館野鴻さんの原画をもとに作成した壁面いっぱいの大きなターポリン(タペストリー)のよなものを展示しています。

この機会に、是非、ゆとろぎへお越しください。

展示期間：3月14日(日)午後8時まで

展示場所：ゆとろぎ1階ロビー、2階廊下

※各事業とも新型コロナウイルス感染症対策を講じて実施します。ご参加の際はご理解・ご協力をお願いいたします。なお、感染状況により延期・中止となる場合があります。事業にご参加いただく前にお電話等で事前に問い合わせください。

少し昔の羽村

郷土博物館では、1月に企画展「むかしのからし」を実施しました。この展示は少し昔の道具から、その道具が使われていた当時の暮らしぶりを見るものでしたが、会期中に緊急事態宣言が発出されたため、多くの方にご覧いただくことができませんでした。そこで、今回は『とおめがね』21世紀への贈りもの』という書籍から、羽村の少し昔の暮らしをご紹介します。

■ひな祭り

羽村でひな祭りに人形を飾って祝うようになったのは、明治時代以降と言われています。昭和時代の初めごろになると、羽東の禅林寺の近く、寺坂下の通りにひな人形の市が立ちました。どれくらい値引きできるかが楽しみだったそうです。また、嫁入りした娘の初めての節供に実家から贈られる「贈りびな」の際には、幅25cmほどの大きな菱餅を重ねてお返ししたこともあったそうです。

■お茶

お茶の木は畑や屋敷の境などによく植えられていて、農家では八十八夜の時期に1年分の自家用のお茶を作りました。隣近所の女性に協力してもらい茶摘みをし、どこかの集落にもいたお茶づくりの名人に製茶を頼んだそうです。製茶はホイロと呼ばれる道具(旧下田家住宅で展示しています)を使った手もみによる方法で行われ、当時は「機械の作ったお茶なんか飲めるか」という声もあったそうです。

■蚊帳

最近では建物の密閉性が高くなり、網戸やエアコンなどの普及によって蚊帳を使う家はほとんどありません。しかし昭和40年代までは、羽村の家でも蚊帳を使っていました。蚊帳に入る時はうちわで蚊帳のすそをおおいで蚊を払い、素早く入ります。捕まえた虫を蚊帳の中で飛ばして遊んだりもしました。間坂下に蚊帳屋さんがあり、そこで傷んだ蚊帳を直してもらったそうです。

■七つの坂

女の子が数え年で七歳になると、大人の仲間入りをしたとして、大人と同じ着物を着てその成長を祝う「帯解き」のお祝いをします。その時にお世話になったおばさんの所へ行き、「七つの坂をこえたから」と報告をすると、「それはよかった」とおひねりをもたらしたそうです。昔は医療や栄養の状態で十分でなかったため乳幼児の死亡率も高く、一つ目の坂が三歳であり、「三つまで生きれば何とかなる」と言われていたそうです。その次が「七つの坂」だったそうです。この言葉には子どもを思う親や周りの大人の気持ちが表れています。

ほんの少しですが、昔の羽村の暮らしをご紹介します。いつかは現在の暮らしも「むかしのくらし」と呼ばれる日が来ます。そんな時に自分の体験した暮らしを次の世代に伝えられるよう、日々のくらしの色々を覚えておくと面白いかもしれません。ちなみに、今回ご紹介した『とおめがね』21世紀への贈りもの』に興味のある方は、ぜひ図書館で探してみてください。

【問合せ】郷土博物館 0558-25601

令和2年度
文部科学大臣
優秀教職員表彰



松林小学校は、人権教育を根幹とした教育活動の推進の取組みが評価され、東京都教育委員会の推薦により、令和3年1月12日、文部科学大臣より、教職員組織部門で表彰されました。

同校は、平成29・30年度に「人権尊重教育推進校」として、「自他を大切にしながら意欲的に関わり合う児童の育成」をテーマに、異年齢集団でのさまざまな活動、地域との交流等を通して人権課題を取り上げた実践を積み重ねてきました。また、平成30・31年度は「羽村市教育研究指定校」として、それまでの取組みを更に充実させ、教職員一丸となり人権教育活動を推進し、児童の人権意識の向上に寄与したことが評価されたものです。



【問合せ】
学校教育課教職員係（内線374）

学校教育施設の整備
について

トイレ環境の整備

児童・生徒の教育環境の向上を図るため、トイレ環境の整備を行いました。安全で快適な学校生活を送れるよう、小・中学校の環境改善を順次進めています。



▲富士見小学校校舎トイレは系統別に3ヶ年の改修工事計画を立て、令和2年度に全面的に完了しました

体育館空調設備の設置

中学校の体育館に空調設備を設置しました。



【問合せ】
生涯学習総務課総務係（内線354）

学習指導サポーターの紹介

今年度、市内の学校には、授業の補助や、休み時間に子どもたちが安全に遊べるよう見守りをしていいる「学習指導サポーター」が在籍しています。
羽村東小学校で活動している塩野さんにお話を聞きました。



学習指導サポーター
塩野 千穂さん

学習指導サポーターを始めたきっかけは、市内のスイミングセンターで約2年間子どもたちなどに水泳の指導をしていた経験があり、子どもと関わることがしたいと思ったからです。

毎週金曜日8時30分から15時30分の6時間勤務しています。出勤して1日の授業スケジュールを確認してから各教室に行き、子どもたちが授業中わからないことがあった時に一緒に考えてあげたり、教えたりしています。

子どもたちに勉強を教える際にどのように教えたら理解してもらえるか、模索しながら伝えています。将来は人に指導ができるような仕事をしたいと考えているので、一日一日が勉強です。授業の補助をしながら

先生の子どもたちへの指導の仕方を見て、とても参考になっています。

羽村東小学校の子どもたちは休み時間に遊ぶ時でも話し合っって問題解決するなど、しっかりしている印象です。学校生活の中で色々なことに積極的にチャレンジしてほしいと思います。



【問合せ】 生涯学習総務課総務係（内線 354）

令和2年度東京都教育委員会
児童・生徒等表彰 受賞

羽村第一中学校 生徒会

羽村第一中学校では、羽村市内の高齢者に励ましの言葉などのメッセージを添えた手作りのクリスマス・ニューイヤーカードを全校生徒で作成し、羽村市福祉健康部と連携して、市内の高齢者福祉施設や、一人暮らしの高齢の方に生徒会が代表して配布しています。平成22年より毎年行われているこの取り組みは、地域との一体感を高め、社会の一員として貢献したとして、東京都教育委員会より表彰されました。



手作りのクリスマス・ニューイヤーカードを作成しています



【問合せ】

生涯学習総務課総務係（内線354）



生徒会が施設にカードを届けに行きます



教育随想

今こそ「進取の気性」を

真冬の夕方、ある中学校の脇を通りかかると校舎三階の窓からクラリネットの音が聞こえてきました。「感染防止のために合奏ができずに一人で練習をしているのかな」「早く皆と合わせて吹きたいだろうな」などとその音色の主の思いを馳せながら校庭側に歩いていくと、本来なら部活動で多くの生徒が走りまわらずの場所には誰の姿もなく、北風だけが舞っていました。

この一年を振り返ると、長い休校があり、分散登校があり、行事を変更し、学習活動と部活動を制約され、今までは違う学校生活が続きました。子どもたちはどのような思いで日々を過ごしてきたのか。この現実を受け入れながら少しでも前向きに頑張っていることが救いです。

世界中を覆ったこの事態は、私たちが「戦前」「戦後」という言葉を使い分けるように、後の歴史の中で「コロナ前」「コロナ後」と語られることでしょうか。この変化の中で、今は新しい価値の「産みの苦しみ」の時期なのかもしれません。それは学校教育についても同様です。ここで文科省の提唱するGIGAスクール構想が前進し、前号の「はむらの教育」で紹介された通り児童生徒に一人一台の端末（パソコン）と校内の高速大容量のWiFi環境が整備されます。子どもたち一人ひとりに最適化された学習を用意すべく、今までの授業のあり方や学習の方法が一変する可能性があります。

とはいえ、端末は単なる道具であり、ネットワークはあくまで環境にすぎません。それらを使って個別最適化し、深い学びに結び付け、学びに必要なデータを集積・活用していけるか否かは、それを使う「人」にかかってきます。子どもたちとそれを取り巻く大人たちの「何のためにやるか」という目的意識と、新しいものを果敢に取り込む「進取の気性」が問われます。かつての羽村人が培ってきたこの気性が今こそ必要です。迷い、悩みながらもGIGAスクール（＝国際的・革新的な世界の扉を開ける学校）への一歩を踏み出す好機が今なのだと思います。

あのクラリネットの音色の主が、コロナ後の新しい価値の中で仲間と共にゆとろぎの舞台上で演奏する日が一日も早く来ることを願いながら…



教育長職務代理者 江本裕子

学校の活動報告！ **羽村第三中学校**

市内の老人ホーム「神明園」との交流

■ **手作りマスクをお届けしました**

コロナ禍において、「地域に何か貢献できることはないか」という生徒会与教員との話し合いから生まれた「羽村三中マスクプロジェクト」。全校生徒に呼びかけを行い、夏休みの二日間を利用して家庭科室のミシンなどを利用して手作りマスクを製作し、日頃から交流のある「神明園」にお届けしました。

このプロジェクトでマスクを受け取った「神明園」の利用者の方からは、「受験勉強などで大変な時に、心のこもった手作りマスクをありがとう。本当にうれしい。」と感謝の言葉をいただきました。



■ **吹奏楽部の演奏を届けました**

クリスマスイブの日、吹奏楽部がコロナウィルス感染防止対策を万全に行った上で、3曲だけのミニクリスマスコンサートを体育館で行いました。演奏の様子を録画して「神明園」にお届けし、利用者の皆さんにクリスマスの楽しい雰囲気を与えることができました。



【問合せ】生涯学習総務課総務係（内線354）

羽村市文化協会は、市や教育委員会と協働して、市の文化を推進していくための団体です。

羽村市文化協会

TEL 579-2772

日頃より文化協会の活動にご協力ご支援を賜りありがとうございます。

春めいてまいりましたが、新型コロナウイルスの影響で皆さんの活動も停滞、困惑されていることと思います。文化協会も「初春邦楽サロンコンサート」を中止し、2月の音楽祭「らららミュージカル」も延期せざるを得ませんでした。その中で一步「羽村の文化」のすそ野を広げ、「循環型生涯学習」「人々の交流」の推進を図っていきます。

■ **「みぢかな 一步」展**

日時 3月4日(木)～7日(日)10時～16時
(但し 初日13時～、最終日15時まで)

会場 ゆとろぎ展示室(入場無料)

内容 俳句、日本刺繍、ニット、いけ花、書道、詩、陶芸、振り袖、ドレス、キルト、ツールペイント、木工、絵手紙、水墨画など小作品の展示

■ **「初めの一步」体験教室**

日時 3月6日(土)・7日(日)10時～15時

会場 ゆとろぎ創作室1、2 ほか

内容 ニット、俳句、玉すだれ、手品、詩吟などの体験
受講料は無料です。詳しくは「みぢかな 一步展」会場・文化協会掲示板(ゆとろぎ館内1階)に掲示します。

主催 羽村市文化協会 共催 羽村市教育委員会

■ **羽村市文化協会総会**

5月22日(土)

■ **第52回羽村市文化祭**

10月2日(土)～11月3日(水・祝)予定

INFORMATION

羽村市役所 (代表) Tel 555-1111

生涯学習センターゆとろぎ	Tel 570-0707	羽村東小学校	Tel 554-5663	武蔵野小学校	Tel 555-6904
図書館	Tel 554-2280	羽村西小学校	Tel 554-2034	羽村第一中学校	Tel 554-2012
郷土博物館	Tel 558-2561	富士見小学校	Tel 554-6449	羽村第二中学校	Tel 554-2041
スポーツセンター	Tel 555-0033	栄小学校	Tel 554-2024	羽村第三中学校	Tel 555-5131
スイミングセンター	Tel 579-3210	松林小学校	Tel 554-7800	教育相談室	Tel 554-1223
弓道場	Tel 555-9255	小作台小学校	Tel 554-1431	適応指導教室	Tel 554-1331
				ハーモニースクールはむら	